

# 学士課程教育機構 自己点検・評価報告

## 1) 分科会委員

田中機構長、関田副機構長、西浦教務部長、尾崎 WLC 長、学事部 松岡課長、総合学習支援オフィス 下出部長、学習支援課 斎藤課長、正木係長

## 2) 2018 年度分科会開催記録

### 第 1 回

開催日時：2018 年 9 月 25 日(火) 15:00～16:15

開催場所：中央教育棟 2 階 第 5 会議室

出席者：田中機構長、関田副機構長、西浦教務部長、学事部 松岡課長、総合学習支援オフィス 学習支援課 斎藤課長、正木係長

#### 【会議内容要旨】

学士課程教育機構にも分科会を設置し、自己点検評価活動を行うという方針から、分科会を設置し、継続的に評価・改善を行っていく。

(詳細は議事録参照)

### 第 2 回

開催日時：2018 年 10 月 30 日(火) 15:00～16:15

開催場所：中央教育棟 2 階 第 5 会議室

出席者：田中委員長（機構長）、関田副機構長、西浦教務部長、学事部 松岡課長、総合学習支援オフィス 学習支援課 斎藤課長、正木係長

#### 【会議内容要旨】

自己点検評価の中間報告に向けて、根拠資料となるものを集約し、確認した。

### 第 3 回

開催日時：2018 年 11 月 13 日(火) 16:30～18:00

開催場所：中央教育棟 2 階 第 5 会議室

出席者：関田副機構長、西浦教務部長、学事部 松岡課長、総合学習支援オフィス 学習支援課 斎藤課長、正木係長

#### 【会議内容要旨】

自己点検評価の中間報告に向けて、現状の進捗を確認し、提出に必要な資料の状態を再度確認した。

## ○2018 年度実施報告

### 1. アセスメント・ポリシーに基づいた学習成果の測定及び可視化を推進

全学部・研究科及び共通科目において、昨年度策定したアセスメント・ポリシー／アセスメント・プラン

に基づき学習成果の測定及び可視化を推進します。また、その結果について点検・評価を行い、教育改善に

つなげるサイクルを構築することを目指します。

・各アセスメントの詳細・根拠書類

アセスメント項目	アセスメント指標	担当部局	根拠書類
知識基盤：幅広い知識と高度な専門性	—	—	—
実践的能力：知識を社会に応用する力とコミュニケーション力	・ TOEIC 得点の変化（入学時と4年次） ・ 語学基準達成者数の推移（各年度）	WLC GCC	○ ○
国際性：多様性を受容する力と他者との協働性	・ 国際ボランティア数の推移 ・ 留学・課外ラーニング・アウトカムズの測定 ③短期海外研修（研修出発前と帰国後） ④長期留学（留学出発前と帰国後）	GCC GCC・国際部 GCC・国際部	○ 今後実施 今後実施
創造性：統合する力と創造的思考力	・ AP 事業によるアセスメント（3段階） ・ バリュー・ルーブリック「創造的思考力」による測定（2018 年度より共通科目「世界市民教育科目群」の一部にて測定開始）	AP 推進本部 学士課程教育機構	○ —
授業レベルでの全学的な取り組み	・ 教員による授業の到達目標に関する自己評価報告書の提出（3年に1回以上）	学習支援課	○
その他の全学的な取り組み	・ 学生生活アンケート（1～4年次）	IR 室	○

### 2. 学生参加型の内部質保証体制の推進について

昨年度の全学自己点検・評価委員会において、現在の内部質保証の体制に、学生参加の要素を取り入れることが承認されました。

つきましては、アセスメント・ポリシー／アセスメント・プランに基づいた学習成果の測定及び可視化の結果について、全学協議会または各評価分科会の中で、可能なところから学生代表を加えて評価分科会を行い、学生の意見を取り入れる仕組みを構築します。

# TOEIC 得点の変化（入学時と4年次）

－2018年度4年生－

行ラベル	平均 / 初回	平均 / 最高	平均 / 受験回数
看護学部	345.8	446.8	4.3
教育学部	373.4	457.4	3.3
経営学部	345.2	453.5	3.3
経済学部	396.3	543.2	3.5
工学部	312.8	391.1	2.7
国際教養学部	582.8	774.4	2.4
文学部	374.5	463.3	3.1
法学部	378.6	492.2	4.0
理工学部	360.6	440.2	3.5
<b>総計</b>	<b>380.6</b>	<b>488.7</b>	<b>3.4</b>

100%以上 90～100%未満 90%未満

NO	項目	年度（平成）																			測定 時期	単位	特記事項 平成30年9月 測定時	定義										
		H25	H26	H27	H28 *第1回中間評価対象				H29					H30					H31 *第2回 中間評価対象						H35 *最終 評価対象									
		実績	実績	実績	目標値	5月1日		3月末		目標値 (独自設定)	5月1日		9月中旬	3月末		目標値 (独自設定)	予測値	5月1日		9月中旬					3月末		目標値	予測値	目標値					
						数値	達成割合	数値	達成割合		数値	達成割合		数値	達成割合			数値	達成割合						数値	達成割合				数値	達成割合	数値	達成割合	
112	⑨学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組																									通年	人							
113	外国語力基準を満たす学生数（A）	296	721	769	700	—	—	1035	148%	1021	—	—	940	1106	108%	1078	1195	—	—	0	0	0%	1,040	1260程度	1,430							○（学部生・大学院生）英語カスタンダード TOEFL-iBT80点以上。 その他の言語（日本語N1レベル含む）においては当該言語で大学学部 レベルの授業を履修できる基準に設定 →外国人留学生のうち以下に該当する学生はカウント 外国人留学生（日本語科目修得）：176 *上記重複無し		
114	うち学部（B）	269	693	748	650	—	—	974	150%	945	—	—	874	1035	110%	990	1100	—	—			0%	930	1,150	1,290							○大学において定めた外国語力基準を記入するとともに、大学が定める 時点において当該基準を満たす学生数、全学生数を学部・大学院別に記 入する。		
115	うち大学院（C）	27	28	21	50	—	—	61	122%	76	—	—	66	71	93%	88	95	—	—			0%	110	110程度	140							○（学部生・大学院生）英語カスタンダード TOEFL-iBT80点以上。 その他の言語（日本語N1レベル含む）においては当該言語で大学学部 レベルの授業を履修できる基準に設定 →外国人留学生のうち以下に該当する学生はカウント 外国人留学生（日本語科目修得）：176 *上記重複無し		
116	全学生数（D）	8,256	8,130	8,125	8,216	—	—	7915		7872	—	—	7872	7872		8,000	8,000	—	—	0	0		8,000		8,000									
117	うち学部（E）	7,786	7,718	7,734	7,706	—	—	7502		7447	—	—	7447	7447		7,470	7,470	—	—				7,470		7,470									
118	うち大学院（F）	470	412	391	510	—	—	413		425	—	—	425	425		530	530	—	—				530		530									
119	割合（A/D）	3.6%	8.9%	9.5%	8.5%	—	—	13.1%	+4.6%	13.0%	—	—	11.9%	14.0%	+1.1%	13.5%	14.9%	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	13.0%		17.9%									
120	割合（B/E）	3.5%	9.0%	9.7%	8.4%	—	—	13.0%	+4.5%	12.7%	—	—	11.7%	13.9%	+1.2%	13.3%	14.7%	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	12.4%		17.3%									
121	割合（C/F）	5.7%	6.8%	5.4%	9.8%	—	—	14.8%	+5.0%	17.9%	—	—	15.5%	16.7%	+1.2%	16.5%	17.9%	—	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	20.8%		26.4%									
182	⑩大学独自の数値目標																																	
185	③海外ボランティア参加者数	32	21	61	100	—	—	111	111%	107	—	—	31	63	59%	114	114程度	—	—	29	#VALUE!		120	120程度	150	通年	人							○単位認定は問わない

2018年度 アセスメント科目実施状況

学部	分類	科目名	担当教員 コーディネーター	開始年度	開講時期	学び始めシート 学期はじめのルーブリック	中間振り返りシート	リフレクションシート 学期終わりのルーブリック	自己成長記録シート
						実施日	実施日	実施日	実施日
経営学部	マイルストーン	初年次セミナー	犬塚 正智	2015	1年春	4月12日 (Thu)	5月24日 (Thu)	7月19日 (Thu)	7月19日 (Thu)
	タッチストーン	人間主義経営演習	安田 賢憲	2016	2年春	4月5日 (Thu)		7月19日 (Thu)	7月19日 (Thu)
	キャップストーン	専門演習	山中 馨	2017	3年秋	9月20日 (Thu)		12月20日 (Thu)	12月20日 (Thu)
文学部	マイルストーン	初年次セミナー	杉山 由紀男	2016	1年春	4月3日 (Tue)		7月3日 (Tue)	7月3日 (Tue)
	タッチストーン	アカデミックスキル応用	井上 大介	2017	2年春	4月10日4月11日		7月17日7月18日	7月17日7月18日
	キャップストーン	演習Ⅱ	杉山 由紀男	2018	3年秋	9月14日 (金)		12月7日 (Fri)	12月7日 (Fri)
看護学部	マイルストーン	健康と生活	中泉 明彦	2016	1年春	4月6日 (Fri)	5月25日 (Fri)	7月6日 (Fri)	7月13日 (Fri)
	タッチストーン	成人看護慢性期援助論Ⅱ	添田 百合子	2018	3年春	4月9日 (Mon)		5月22日 (Tue)	5月28日 (Mon)
	キャップストーン	看護実践統合実習		2019	4年秋				
経済学部	マイルストーン	初年次セミナー	西田 哲史	2017	1年春	4月6日4月11日	5月23日5月25日	7月11日7月13日	7月11日7月13日
	タッチストーン	演習Ⅰ		2018	2年秋	9月19日 (Wed)	10月24日 (Wed)	12月19日 (Wed)	12月19日 (Wed)
	キャップストーン	演習Ⅲ		2019	3年秋				
法学部	マイルストーン	初年次セミナー	須藤 悦安	2017	1年春	4月5日 (Thu)		6月26日 (Tue)	6月26日 (Tue)
	タッチストーン	演習Ⅰ	須藤 悦安	2018	2年秋	9月7日 (Fri)		12月7日 (Fri)	12月7日 (Fri)
	キャップストーン	演習Ⅲ		2019	3年秋				
教育学部	マイルストーン	初年次セミナー	舟生 日出男	2017	1年春	4月10日 (Tue)		7月10日 (Tue) 7月17日 (Tue)	7月17日 (Tue)
	タッチストーン	教育心理学Ⅰ (教育)	関田 一彦	2018	2年春	4月5日 (Thu)	5月21日 (Mon)	7月12日 (Thu) 7月9日 (Mon)	7月16日 (Mon)
		学校研究 (児教)	関田 一彦 戸田 大樹			4月5日 (Thu)	5月31日 (Thu)	7月12日 (Thu)	7月19日 (Thu)
	キャップストーン	教育カウンセリング (教教・児教)		2019	3年秋				
理工学部	マイルストーン	プロジェクトスタディーズA (情報)	石井 良夫	2018	1年春	4月5日 (Thu)	5月17日 (Thu)	6月21日 (Thu)	7月3日 (Tue)
		プロジェクトスタディーズA (共生)	西山 道子			4月5日 (Thu)	5月17日 (Thu)	6月21日 (Thu)	7月3日 (Tue)
	タッチストーン	ケーススタディ		2020	3年				
	キャップストーン	演習		2021	4年				
国際教養学部	マイルストーン	Freshman Seminar	Sasaki, Daugherty, Hansford, Ybantiides	2018	1年春	4月10日 (Tue)	5月29日 (Tue)	6月26日 (Tue)	7月10日 (Tue)
	タッチストーン	Academic Writing	Sasaki, Daugherty, Hansford, Ybantiides	2019	2年秋				
	キャップストーン								
	マイルストーン	共通基礎演習	寺西先生		春	4月6日 (Fri)	6月15日 (Fri)	7月20日 (Fri)	7月20日 (Fri)

# 共通科目 自己評価報告書 提出状況について

2016年度～2018年度の3年間

## ○学部別提出件数

学部	提出件数	所属教員数 (2018年4月1日時点)
経済	5	22
法	9	22
文	18	55
経営	3	21
教育	4	31
理工	10	53
看護	1	34
国際教養	7	19
学部以外	62	—

## ○年度別提出件数

2016年度	3件
2017年度	39件
2018年度	90件

# 2017年度 学生生活アンケート 実施概要報告

表1 2017年度学生生活アンケート回答状況

	年度 2017				2016後期	2016前期
	開始 2017年12月1日				2016年12月1日	2016年5月23日
	終了	2017年12月14日	2017年12月22日	2016年との差	2016年12月23日	2016年7月20日
	期間	14日間	22日間		23日間	59日間
1年生	①対象者数	1,634人			1,616人	
	②回答者数	179人	971人	-26人	997人	
	③全問回答者数	-	662人	-42人	704人	
	回答率(②/①)	11.0%	59.4%	-2.3%	61.7%	
	全問回答率(③/①)	-	40.5%	-3.1%	43.6%	
	全問回答到達率(②/③)	-	68.2%	-2.4%	70.6%	
	回答者数/日	12.8人	44.1人	0.8人	43.3人	
2年生	①対象者数	1,618人			1,711人	
	②回答者数	136人	788人	-210人	998人	
	③全問回答者数	-	642人	-135人	777人	
	回答率(②/①)	8.4%	48.7%	-9.6%	58.3%	
	全問回答率(③/①)	-	39.7%	-5.7%	45.4%	
	全問回答到達率(②/③)	-	81.5%	3.6%	77.9%	
	回答者数/日	9.7人	17.9人	0.9人	16.9人	
3年生	①対象者数	1,803人			1,784人	
	②回答者数	162人	670人	-358人	1028人	
	③全問回答者数	-	517人	-345人	862人	
	回答率(②/①)	9.0%	37.2%	-20.5%	57.6%	
	全問回答率(③/①)	-	28.7%	-19.6%	48.3%	
	全問回答到達率(②/③)	-	77.2%	-6.7%	83.9%	
	回答者数/日	11.6人	37.5人	20.1人	17.4人	
4年生	①対象者数	2,392人			2,391人	
	②回答者数	181人	783人	-88人	871人	
	③全問回答者数	-	595人	-29人	624人	
	回答率(②/①)	7.6%	32.7%	-3.7%	36.4%	
	全問回答率(③/①)	-	24.9%	-1.2%	26.1%	
	全問回答到達率(②/③)	-	76.0%	4.3%	71.6%	
	回答者数/日	12.9人	20.9人	-17.0人	37.9人	
全学年	①対象者数	7,447人			7,502人	
	②回答者数	658人	3212人	-682人	3,894人	
	③全問回答者数	-	2416人	-551人	2,967人	
	回答率(②/①)	8.8%	43.1%	-8.8%	51.9%	
	全問回答率(③/①)	-	32.4%	-7.1%	39.5%	
	全問回答到達率(②/③)	-	75.2%	-1.0%	76.2%	
	回答者数/日	47.0人	153.9人	-	-	

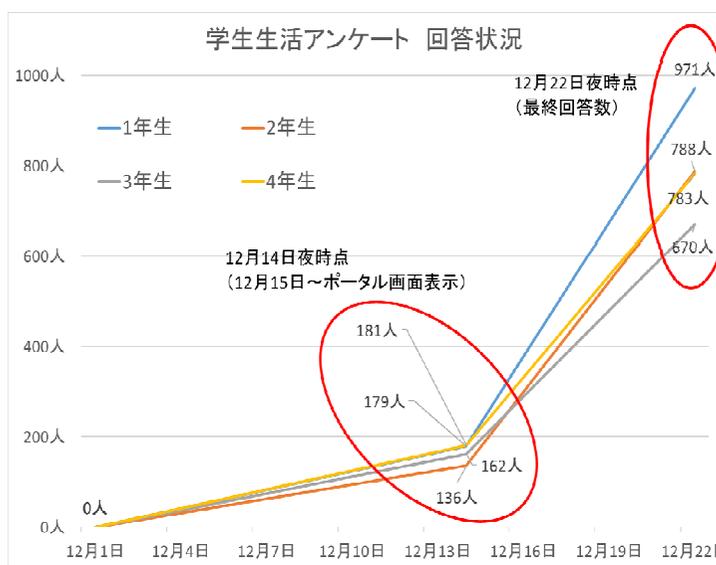


図1 回答状況の推移

表2 年度・学年別設問数

	1年	2年	3年	4年
前回(2016)	107	75	79	77
今回(2017)	85	57	72	69
差	22	18	7	8

## ●回答数、回答率について

前回に比べ、全体的に回答者数は減少した。特に、2, 3年生の回答者数が大幅に減少した。原因としては、前回と今回の回答時期と期間の違いが考えられる。

## 前回からの回答増減率

1年生:-2.3% 2年生:-9.6% 3年生:-20.5% 4年生:-3.7% 全学:-8.8%

## 2,3年生については、

前回:前期5/23~7/20(59日間)、今回:後期12/1~12/22(22日間)で実施

しかし、1日当たりの回答者数を比較すると、前回より2年生0.9人増、3年生20.1人増となっている。

## ●全問回答到達率について

(回答した学生の中で、最後の設問まで到達した学生の割合)

全問回答率も算出しているが、年度によって母数となる対象者数が異なるため、回答者のうち全問回答者がどれくらいいるのかについても全問回答到達率として算出している。

## 全学では、前回よりも-1.0%となった。学年別でみると、

1年生:-2.4% 2年生:3.6% 3年生:-6.7% 4年生:4.3% となった。

前回と今回の比較に限っては、問題数の減少(表2)から全問回答到達率向上への影響は見られないと思われる。今後、継続実施していく中で、問題数と回答率との関係性も確認していきたい。

## ●回答率増加の取組について

今回も前回に引き続き、終了前1週間はポータルサイトログイン時に回答を促すポップアップ画面を表示した。その結果、図1のように回答率がそれまでの期間の658人から5倍以上となる3212人まで増加した。